

	おおすし 大洲市	〒795-8601 大洲市大洲690番地の1		電話 番号	(0893) 24-2111
		地域 指定	離島 特農 過疎 農振 山振 低工 農工 辺地(31) 拠点都市	FAX	(0893) 24-2228 (総務課)

<http://www.city.ozu.ehime.jp/>

〈沿革〉

平17. 1.11 市制施行
(大洲市・長浜町・肱川町・河辺村 合併)

〈市町のあらまし〉

愛媛県の西部に位置し、松山、八幡浜、宇和島、高知県須崎方面への交通の要衝となっている。
市の多くが中山間地であるが、中央部には大洲盆地が開け、西部は瀬戸内海伊予灘に面している。中央を1級河川「肱川」が流れ伊予灘に注いでおり、流域に沿って田畑や集落、市街地が形成されている。
「きらめくおおす〜みんな輝く肱川流域のまち〜」の将来像を掲げ、住民と行政が力をあわせ、美しい自然環境の中で暮らし、力強く働き、心豊かな生活ができる市の創造を図る。

〈由来〉

大洲は、以前「大津(大津とは、大いなる渡し場の意)」と呼ばれていた。1617年大津城が加藤貞泰に与えられ、貞泰が米子から移封、入城の後、「大津は、近江の大津、土佐の大津に紛れる処あり」との理由で、大洲と書き改められたと伝えられる。

洲は、河川の氾濫により、土砂等が高低に堆積された地勢(砂洲・中洲)を意味し、大洲は、その地勢の現象に相応しい地名呼称である。

〈庁舎の建設年度〉

建築年度	増 改 築	主な増改築箇所
昭58年度	平26年度	同敷地内増床

〈行政組織〉

(令和 4. 6. 7現在)

区 分	名 前	任 期
市 長	二宮 隆久 にのみや たかひさ	令和 8. 5. 19
副市長	徳永 善彦 とくなが よしひろ	令和 8. 6. 6

議 会 (令和 4. 9. 21現在)

議長	梶田 和美	副議長	児玉康比古
議員	(条例定数) 21人		
	(現 員) 21人		
任期	令和 7. 10. 1		

職員数 (令和 4. 4. 1現在)

普通会計	434人
企業会計	185人
その他会計	30人
計	649人

〈人口・世帯数〉

()は増減率

区 分	平7国調	平12国調	平17国調	平22国調	平27国調	令2国調	令 4. 1. 1住基
人 口	(△3.4%) 53,850	(△2.0%) 52,762	(△3.7%) 50,786	(△7.2%) 47,157	(△6.5%) 44,086	(△8.0%) 40,575	41,300
男	25,661	25,110	24,197	22,306	21,013	19,423	19,812
女	28,189	27,652	26,589	24,851	23,073	21,152	21,488
世帯数	18,113	18,774	19,042	18,410	18,057	17,375	19,744

年齢構成（令2国調）

区 分	14歳以下	15歳以上64歳以下	65歳以上
人 口	4,560 人	20,500 人	14,954 人
構成比	11.2 %	50.5 %	36.9 %

選挙人名簿
登録者数（令和4.9.1現在）

男	16,700 人
女	18,366 人
計	35,066 人

〈土地利用〉

（令和2.2.1現在）（ha. %）

総 面 積 令和4.7.1 (km ²)	林 野 面 積	林 野 率		経営耕地面積			宅 地 化 率 令3.1.1
				田	畑	樹園地	
432.12	31,515	72.9	1,021	382	296	343	3.7

〈産 業〉産業構造

（百万円・人）

区 分	総生産額(令元年度)		就業人口(令2国調)	
第1次	3,665	2.5 %	2,132	11.4 %
第2次	32,289	22.4 %	4,168	22.2 %
第3次	108,337	75.1 %	12,480	66.5 %
計	144,291	100.0 %	18,780	100.0 %

（注）「総生産額」の計欄は帰属利子の控除等を行っており、「就業人口」の計欄は分類不能の人数を含む。

主要製造業（令元年）

（百万円）

品 名	製造品出荷額等
食料	10,532
木材	6,703

所得（令和元年度）

1人当たり 市町民所得	2,498 千円
----------------	----------

令和3年度の主な建設事業

（百万円）

事 業 名	事 業 費
橋りょう大規模修繕事業	668
学校施設整備事業	427
港湾・漁港施設整備事業	229
防災行政無線デジタル化整備事業	778
災害公営住宅整備事業	401
公共下水道事業	387
若宮東大洲線外1路線道路改良事業	201
地方創生道整備推進交付金事業	138
公民館整備事業	111

今後の主な建設事業

（百万円）

事 業 名	事 業 費
橋りょう大規模修繕事業	621
学校施設整備事業	2,884
港湾・漁港施設整備事業	961
市民文化会館建設事業	5,700
環境センター基幹改良事業	5,000
地域交流センター整備事業	2,200
保育所整備事業	1,233
消防詰所・設備整備事業	734
肱川地区複合公共施設整備事業	621

〈観光・レクリエーション〉

名勝旧跡 観光施設	大洲城 中江藤樹邸跡(至徳堂) 稲荷山公園 如法寺 富士山公園 旧加藤家住宅 盤泉荘(旧松井家住宅) おおず赤煉瓦館 大洲家族旅行村 ポコベン横丁 思ひ出倉庫 臥龍山荘 おはなはん通り 大洲まちの駅「あさもや」 たいき産直市「愛たい菜」 雲海展望公園 白滝公園 金山出石寺 青島 日本えびね園 長浜大橋 肱川あらし展望公園 小敷温泉 丸山公園 交流促進センター「鹿野川荘」 しゃくなげ谷 鹿鳴園 道の駅「清流の里ひじかわ」 松島神社(鎮魂神楽) 風の博物館・歌麿館 坂本龍馬脱藩の道 坂本龍馬脱藩之日記念館 浪漫八橋(屋根付き橋) 御幸の橋 河辺ふるさと公園
祭 り 催 し 物	十日えびすまつり(1月9日～11日) 祇園まつり(旧正月) 観光さくらまつり(3月下旬～4月下旬) 菜の花まつり(3月中旬) 臥龍の渡し(4月～5月の日・祝日) つつじまつり(4月25日～5月15日) 大エビネ展(4月20日～5月5日) ポコベン横丁(4月～11月毎週日曜日、12月～3月第3日曜日) ひじかわ遊覧(4月～11月中旬) うかい(6月1日～9月20日) はたるまつり(6月1日～15日) 大洲川まつり花火大会夏の陣(8月3日) ドラゴンボート大会(5月) 鹿野川夏まつり(8月上旬) なかのはま赤橋夏まつり(8月第1土曜日) 青島盆踊り(8月13日・14日) かかわふるさと祭り(8月14日) いもたき(9月上旬～10月中旬) わらじで歩こう坂本龍馬脱藩の道(9月下旬) 大洲産業フェスタ(10月上旬) もみじまつり(11月1日～30日) 雲海まつり(11月第3日曜日) 大洲まつり(11月2日・3日) 白滝滝まつり(11月第3日曜日) 白滝ふり姫まつり(11月23日) 肱川ふれあいまつり(11月第3日曜日) 大洲川まつり花火大会 冬の陣(1月第1金曜日)
公 営 宿泊施設	大洲家族旅行村オートキャンプ場・コテージ 鹿野川荘 鹿鳴園ケビン 望湖荘 河辺ふるさとの宿 交流館才谷屋 旧加藤家住宅

〈名物・特産品〉

竹製品 いもたき 鮎 かじか 栗・栗商品 志ぐれ 月窓餅 残月 しいたけ たけのこ ふぐ料理 トマト 肱川 ラーメン あまご・あまご商品 大洲コロッケ あまごのさつま はも・はも商品 うなぎ・うなぎ商品 とんくりまぶし しめとうふ みからしみそ 麦みそ 唐饅頭 あまごけ 清酒 漬物・佃煮 いわし黒酢南蛮 醤油 ミートソース ビーフカレー・杵つき餅カレー 6.5キャロットの涙(デザートソース) 蔵川エコ米 エコラプスライカ 原木しいたけ ハンバーグ おうど芋 すくいとうふ 杵つき餅のラザニア 杵つき餅ストローネ ゆねり おおず繭 ロイヤルワックス-G(生蠟) ロイヤルワックス-W(晒白蠟) 長木保育下駄 木製サンダル 一本歯下駄 エコトコスメオーガニック(IYOKAN) 臥龍パールエール(クラフトビール) 麦味噌漬け豆腐 まめいり 組子細工 さといも

〈主な公共施設〉

総合体育館 市民会館 市立大洲病院 環境センター 博物館 図書館 児童館(センター)(3) 公民館(24) 自治センター(4) 保育所(8) 幼稚園(3) 認定こども園(4) 小学校(12) 中学校(8) 社会教育センター 徳森公園 総合福祉センター 斎場(4) 防災ステーション(防災センター) フラワerparkおおず 風の博物館・歌麿館 鹿鳴園 河辺ふるさとの宿 交流館才谷屋 坂本龍馬脱藩之日記念館

〈主要課題〉

1 活力きらめくまちづくりの推進	第1・2次産業の振興、商業・観光の振興、雇用の創造など
2 安心きらめくまちづくりの推進	保健・医療の充実、福祉の充実、社会保障の充実など
3 文化きらめくまちづくりの推進	学校教育・社会教育の充実、文化・スポーツの振興など
4 快適きらめくまちづくりの推進	地域基盤の整備、生活環境の整備、生活安全の確保など
5 自然きらめくまちづくりの推進	自然の保全・活用、整備、地球環境の保全など
6 人々きらめくまちづくりの推進	市民参画の促進、交流の促進、DXの推進など

〈地域づくりの事業等〉

○ 地域基盤の整備	四国西南地域の玄関口に位置する圏域中核拠点として魅力あるまちづくりを目指し、中心市街地の計画的な整備充実を図るとともに、大洲拠点地区などの新市街地や長浜港内港部の計画的な開発、長浜・肱川・河辺地域中核拠点の整備などを図る。
○ 商業・観光の振興	農林水産業と観光の関連強化、既存商店街の活性化などにより商業の振興を図るとともに、体験、滞在、反復型の観光地づくりを目指し、豊富な山・川・海の幸などの食の魅力を高め、観光資源を生かした観光ルートの確立と広域観光の推進を図る。
○ 生活環境の整備	良好・安全な住環境の確保のため、若者の定住化や高齢者・障がい者に配慮したまちづくりを推進するとともに、山鳥坂ダムの建設、海岸や河川改修を積極的に推進し、防災機能の向上を図る。

(令和 4.4.1現在)

※ 括弧書きは、基本構想の変更

